

Voice of Heart 2011/2012



ラジオ番組 “Voice of Heart” 概要



一般財団法人
カンボジア地雷撤去キャンペーン



クーン・ソコーンさん (29才)
「私の足を奪った憎い敵である地雷と闘うことに私が生きている意味があるのです」
2002年に地雷で右足を失いながらもMAG(地雷・不発弾撤去NGO)でディマイナーとして地雷を撤去している。

Toward a world free of mine, safe life without fear and better future

地雷・不発弾の”インパクトゼロ”を目指して

カンボジアは30年近く続いた内戦が終わって10年以上経ちますが、600万個の地雷、648.8平方キロメートル（福岡市の面積の約2倍）の地雷原が残っているとされており負の遺産が”ネガティブインパクト”となって人々の安全、生命に脅威を与え開発の障害となり貧困の原因ともなっています。



ソコーンさんと娘のスレイマオちゃん

カンボジアはいま成長著しい国です。開発援助から投資へとシフトする段階に来ています。私たちCMCが支援を行なっている北西部はもともと肥沃な大地で農業による発展が期待されています。障害となっている地雷・不発弾を取り除けばもっと発展が加速し貧困を削減できるでしょう。

安心して暮らせるように、コミュニティが持続的に発展していくために、障害を負ってしまった人も社会で活躍できるように、CMCは地雷・不発弾の”インパクトゼロ”を目指して支援を行なっています。



ラジオプロジェクト: Voice of Heart

カンボジア地雷撤去キャンペーン(CMC)はカンボジアでの地雷・不発弾対策への支援を行ってきました。CMCは地雷・不発弾生存者をはじめとする障害者への支援も合わせて行っています。

ラジオを通じて障害者に勇気を、希望を与えたい。

CMCは障害者の思いや声を共有出来るコミュニケーションの場としてラジオを選びました。私たちはラジオは人と人をつなぐことができる、ラジオならもっと心に寄り添うことができると信じています。カンボジアにおける障害者のための初のラジオ番組として“Voice of Heart”は2005年にスタートしました。

ラジオは希望

地雷・不発弾は手足を時に命を奪うだけでなく夢や希望や可能性をも奪います。失ってしまったかわりに彼らが得たもの。再び手にした希望。それを聞きたい。そして失望の中にいる人へ届けたい。それが“Voice of Heart”の希望です。優しくけれど強くラジオから伝えたい。

“

障害者のみなさんどうか何もかも投げ出さないでください。
手あるいは足を失ったとしても心まで失ったわけではありません。
私たちは生き抜いていかなければならないのです。

”

クーン・ソコーン, MAGディマイナー

番組が目指すもの

- ▶ 地雷・不発弾3被害者をはじめとする障害者の方々に逆境にめげずに前向きに生きようとする気持ちを持ってもらうこと
- ▶ 地雷・不発弾被害者をはじめとする障害者の方々が抱えている苦労や悩みを人々に理解してもらい、彼らに対する差別・偏見をなくすこと
- ▶ 地雷・不発弾の危険性を啓蒙し、新たな地雷・不発弾被害を減少させること
- ▶ 地雷・不発弾被害者をはじめとする障害者の方々に有益な情報を提供すること

放送予定

FM93.5

ボタンバン

毎週金曜日 17:00 - 18:00

放送期間

2011年11月 - 2012年4月

FM96.5

バンテアイ・ミエンチャイ

毎週木曜日 19:00 - 20:00

放送期間

2011年11月 - 2012年4月

出演

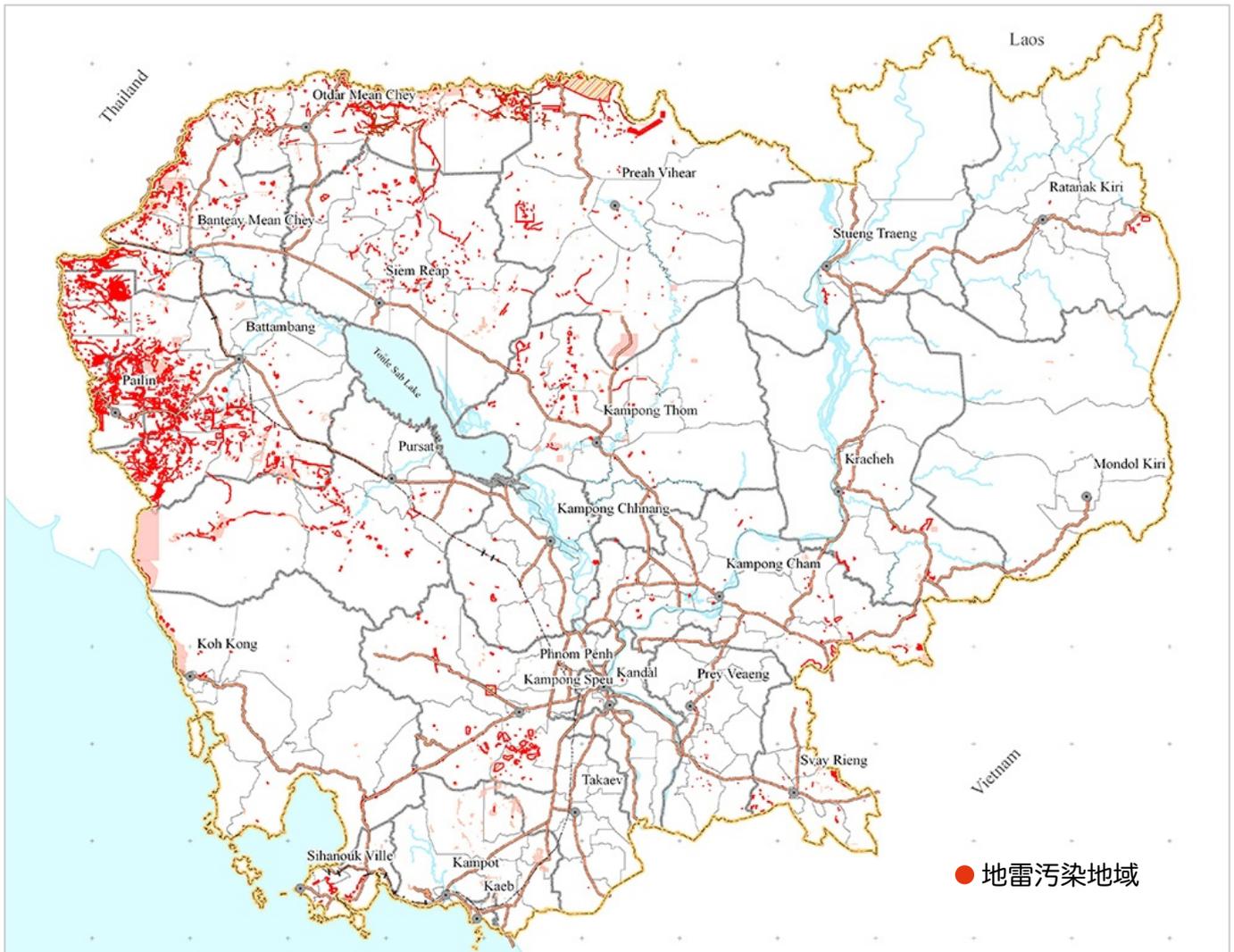
- ラジオ局DJ
- CMCスタッフ
- ゲスト

番組構成

内容	時間(分)
1 番組宣伝スポット	3
2 オープニング	3
3 地雷・不発弾危険回避教育	5
4 電話コーナー	10
5 リクエストソング	3
6 特集	15
7 電話コーナー	10
8 リクエストソング	3
9 スポンサーへの謝辞	2
10 エンディング	6
	60

ターゲット聴取者

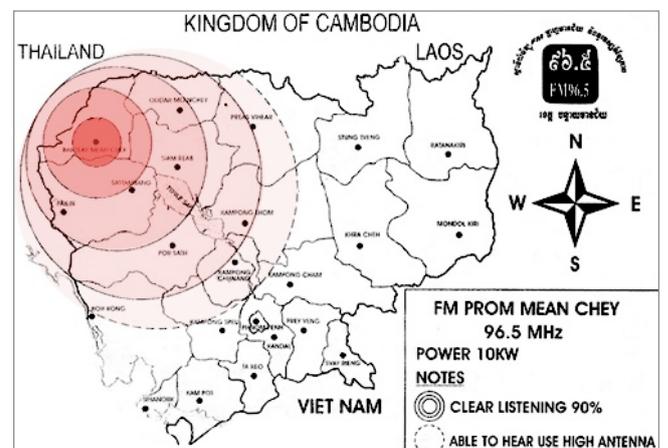
- 地雷・不発弾生存者
- 障害者
- 地雷・不発弾汚染地域住民



放送ターゲットエリア

カンボジアは30年以上も続いた内戦の結果、世界でも最も地雷・不発弾に汚染された国のひとつです。600万個の地雷が残っていると言われています。地雷はカンボジア北西部、バタンバン州、バンテアイ・ミエンチャイ州、バイリン州、オダー・ミエンチャイ州、プレア・ビシア州、ポーサット州に集中しています。そこで放送ターゲットエリアをカンボジア北西部としました。

可聴エリア





スライヒエンちゃん (14才)

2011年2月、大豆の種蒔き中に対人地雷を踏み
右足を失った。3月に番組で彼女のストーリーを
紹介。その後8月に再会した時には笑顔が戻り始
めていた。

番組内容

1. 番組宣伝スポット

番組紹介を兼ねて番組宣伝スポットを放送

2. オープニング

オン・ソパンナラが切なく唄う「私は障害者」が流れ出し
番組がスタート。DJがあいさつの後、番組の内容を紹介。

3. 地雷・不発弾危険回避教育

地雷・不発弾汚染地域に暮らす人たちへ地雷・不発弾の危
険、事故情報を伝え注意を喚起します。また新たな事故を防
ぐために教育、啓蒙メッセージを伝えます。

4. 電話コーナー

地雷・不発弾に関するクイズを出してリスナーから答えを電
話で募ります。

5. リクエストソング

リスナーからのリクエスト曲に応えます。

6. 特集

番組のメインコンテンツとなるのが特集です。

インタビュー

トピックに沿って障害者の声を紹介。障害者に前もって取材
し収録したインタビューを放送。解説も交え、さらにリス
ナーにも電話にて参加してもらいます。障害者の悩み、ニー
ズに対して具体的なアドバイス、情報を共有することが狙
い。取り上げるトピックは教育、仕事、職業訓練、恋愛・
結婚、差別・偏見、障害者への支援など。

ドキュメンタリー

地雷・不発弾生存者のストーリーをドキュメントします。彼
ら自身の声で彼らの思いを伝えることによりリスナーに共
感を持ってもらい、さらに地雷・不発弾問題への理解を深め
てもらうのが狙いです。



ホー・チャントリアさん (24才)

2009年7月、トラクターで耕作中に対戦車地雷を踏み左足を失った。自殺を試みたこともあるがまわりの励ましで立ち直った。また農作業が出来るようになり2011年に結婚、これからの人生に希望を抱けるようになった。

ゲスト

スタジオに地雷・不発弾対策、障害者支援を行っている団体からゲストを迎え障害者へ有益な情報を提供し、障害者と支援団体をつなげます。

協力団体

地雷・不発弾撤去、危険回避教育

- CMAC (Cambodian Mine Action Centre)
- MAG (Mine Advisory Group)

救急外科・治療

- Emergency

障害者への義足・義手、リハビリの提供

- PRC (Physical Rehabilitation Centre) Battambang

地雷生存者支援

- Arrupe
- OEC (Operations Enfansts du Cambodge)

障害者に対する職業訓練

- CWARS (Cambodian War Amputees Rehabilitation Society)

7. 電話コーナー

特集の感想、意見、質問などを電話で受け付けます。

8. スポンサーへの謝辞

番組スポンサーへの謝辞をアナウンスします。

9. リクエストソング

リスナーからのリクエスト曲に応えます。

10. エンディング

番組を振り返り、次回の予告をします。またCMCへの連絡先をリスナーに告げます。

Cambodia Mines-remove Campaign



一般財団法人 カンボジア地雷撤去キャンペーン

〒814-0002

福岡市早良区西新1-7-10-702

Phone: 092 833 7676

Fax: 092 833 7677

Email: cmc5963@gmail.com

URL: <http://cmc-net.jp>

Cambodia Office

House #83, Group 42, Street 2.5, 20 Osapea
Village, Svaypor, Commune, Battambang,
Cambodia